

この夏、光市が輝いた！

～ 大自然を舞台にした今夏のイベントを写真で振り返る ～



花火大会&スターライトファンタジーin虹ヶ浜(8月6日～13日)

1 花火と「ウォーターカーニバル」の美の競演
地元出身歌手のステージに観客は大歓声
ライブ演奏に観客はステージ前で盛り上がる
会場前の沿道もたくさんの人で賑わう
花火大会の日、海岸は観客で埋めつくされる
幻想的な雰囲気の中の「ナイター海水浴」

サンドアートin光 (7月23日)



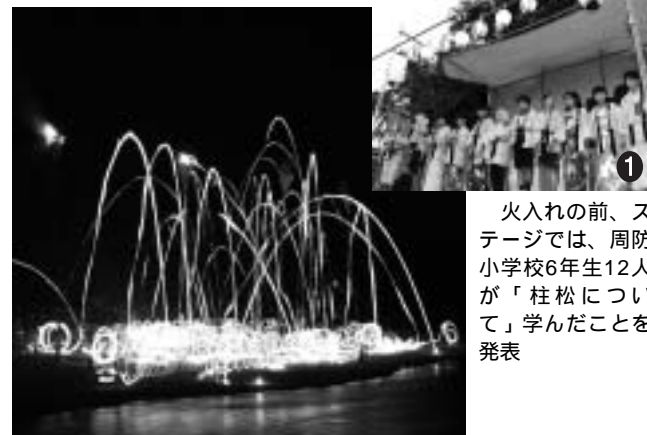
子どもの部大賞の「ハッスルレインボー」
中学生の部大賞の「光井中造形部」

室積わいわいフェスタ (7月30日)



ナイトシアターではディズニー映画「Mr.インクレディブル」を上映
勇壮な「木遣り太鼓」を披露

周防柱松 (7月31日)



1 火入れの前、ステージでは、周防小学校6年生12人が「柱松について」学んだことを発表

ひかり未来航海2005 (8月7日)



1 「ちびっこわんぱく相撲大会」では85人の小学生が熱戦を繰り広げる
リンボーダンスに挑戦
水鉄砲で的当てゲーム

巧みの技で地域に貢献



建設労働組合光支部の奉仕作業
7月31日、建設労働組合光支部の皆さんが、大和地域の小中学校で奉仕作業に取り組みました。
同支部は、毎年、夏休み期間中に市内の各学校・幼稚園の施設設備などをボランティアで補修・修繕しています。旧光市で昭和49年からスタートし、今年で32回目。昨年の合併により、今年が大和地域で初めての作業となりました。
この日は、大和地域の組合員を含めた30人が参加。三輪小学校では、皆さんの巧みの技で、教室の木製ロッカーをまたたく間に補修しました。
夏休み明けには、見違えるようになったロッカーに、子どもたちも大喜びすることでしょう。

お互いを尊重し合えるまちづくりを目指して

お互いを尊重し合えるまちづくりを目指して
考えるつどい
平成17年度光市人権を
考えるつどい
8月10日、市民ホールで「平成17年度光市人権を考えるつどい」を開催しました。学校関係者やPTAなどが多数訪れ、人権教育についての理解を深めました。
開催に先立ち末岡市長が「お互いの人格、人権を尊重し、すばらしいまちをつくっていききたい。」と挨拶しました。
その後、歌手で、篤志面接委員や保護司に就かれている千葉紘子先生の講演が行われました。「心の扉を開いて、子どもたちからのメッセージ」と題された話に、会場中が感動に包まれました。



市民特派員の
三浦恵美さん
(島田6丁目)
地域で子育て
島田こども教室
ましがど
レポート



子どもに防犯ベルを持たせなくてはならなくなった昨今、自由に遊べる場所も時間もなくなりました。子どもたちに、安心して遊び学べる場所をと、昨年からは島田公民館では、島田小学校と地域の有志の方々の協力と指導のもと、「島田こども教室」を開催しています。これは文部科学省の委託を受け

取り組んでいるもので、通常のパソコン教室やランドゴルフ教室のほか、この夏休みには島田川での川遊びや、ちょっと変わったお話しも開催しました。
すくそばに川があるというのに、危険だからなかなか遊ぶ機会がなかった子どもたちは、画家で島田川の生態系に詳しい奥田賢吾先生の指導のもと、網で魚を捕って観察したり、いかだ遊びをしたりして、夏のひとときを楽しんでいました。
お話しでは、「真夏に冬を感じよう」や「本の世界を絵にしてみよう」など毎回違ったテーマを設け、お話の世界を満喫しました。
こういった交流のおかげで、地域で子どもを守り育てる意識が高まり、防犯にも一役買っています。地域の人たちに見守られ、光の子は幸せですね。

